新聞 毎月一夕 第30號
月曜休刊 一部賣(3圓)

磐城毎日

昭和29年(1954) 7月9日 (金曜日) 第1117号

発行所 磐城毎日新聞社
福島県磐城市湯本51週
電話代表387番
編集発行人 比佐不二夫

石城の〝トリエステ〟
ゆれ動く豊間町の表情

町村合併の歩みの中で、さきに磐城、常磐両市が生まれ、本月十日更らに内郷市が誕生して石城の中軸町村は次々に新市の中に呼吸して施設強化に前進するとき鹿島崎燈台、沼の内辯天等縣下に誇る觀光資源に惠まれながら半農半漁の貧困財政ゆえに宣傳にも事欠き肝心の漁港施設強化など思ひもよらぬ、と太平洋から押し寄せる不況の怒濤を浴びている豊間町、――それは石城中部海岸線の中で只一つ市政圏外に孤立した脆弱自治体〝海のトリエステ〟の惱みでもあろう

本社は七日同町の中心部落磯公民館に続々と押し寄せた住居者代表とこれを双方から包む豊間、沼ノ内住民有志の聲を捉え磐城、平両市の勸誘下、いまや合併必至と動く「豊間町の表情」をみてとつた

以下は潮の香匂う農漁民の生々しい動向を傳える現地ルポである

豊間漁港の生命線を決するもの
町民の生命線が磐城か平か
大勢を決する〝海の住民〟

是等の〝収入増減が直接關係に影響する町内各種業者並に家族一千二百他が一般官吏その他と云う現狀、ところが絶對過半數を占める海の生活者の中で、調査が核心に進むにつれて大きく相反する現象が明らかになり、その結果が等しく海に生きながら平市合併と、磐城市希望とに二つの勢力となつて對立し、全町民が合併希望にも拘らず、その對象決定には、

磐城市に合併しても小名濱、中之作、江名の漁港をもつ磐城市は豊間町のチッポケな港を强化する必要を認めず始んどその点見込みなしと斷ずるが常識である、是に反し平市としては、同市が遠大な將來の飛躍構想に港をもつということは心的物質に絶大な魅力であるばかりでなく、実際問題としても大きいプラスとなる、從つて相當巨額な投資をしても施設强化に乘り出してくれると信じられる

豊間町民は言うまでもなく海に左右される生活の中にあり、豊間港施設が强化されることによつて受ける福祉は論をまたず、大局から中平市合併の線を出したことは極めて常識的な判斷ではないか （外同一意見有力者四名）

一方磐城市合併希望者の代表としての理想は腹のたしにならぬ、港が完備するまでには何年もの長年月を要するべく、一日〳〵を海と共に生きる者や、加工業一本に生きる業者は、いろ〳〵な点で江名を通じ磐城市に繋る相関性の中で生活している、その点で多数の磐城市希望者があることは爭えない

かくて當面の經濟不況の中で時代の惱みも加つた豊間町は四分六分の勢力のまま、オール合併の精神を如何に處理するかの段階に來ている

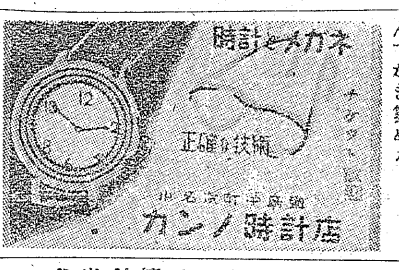
結論として平市合併に落ち着くことだけは從來の政治常識上決定的と觀測される

豊間漁港の生命線を決するもの
町民の生命線が磐城か平か
大勢を決する〝海の住民〟

町村合併の歩みの中で、さきに磐城、常磐両市が生まれ、本月十日更らに内郷市が誕生して石城の中軸町村は次々に新市の中に呼吸して施設強化に前進するとき鹿島崎燈台、沼の内辯天等縣下に誇る觀光資源に惠まれながら半農半漁の貧困財政ゆえに宣傳にも事欠き肝心の漁港施設強化など思ひもよらぬ、と太平洋から押し寄せる不況の怒濤を浴びている豊間町、――それは石城中部海岸線の中で只一つ市政圏外に孤立した脆弱自治体〝海のトリエステ〟の惱みでもあろう

本社は七日同町の中心部落磯公民館に続々と押し寄せた住居者代表とこれを双方から包む豊間、沼ノ内住民有志の聲を捉え磐城、平両市の勸誘下、いまや合併必至と動く「豊間町の表情」をみてとつた

以下は潮の香匂う農漁民の生々しい動向を傳える現地ルポである



同部落では直接收入に響いて来る海洋依存の生活がラフに現われて、より早くそ〻狀態を存續する方へ動きたいとの明らかな表情、そこで海の生活者の綜合意見を全町に飛んでかき集める

動く豊間町總人口六千一百四十名中漁産額王により依存する業者並に家族三千一百名が半農半漁の小舟漁業によつて至近海の海草雜魚などの資源に依存して生きる業者並に家族三千

古ぼけた壁、赤黒く燒けた壁、疲れ切つた漁磯公民館に詰めかけた半農半漁民の潮燒けした顔を前にして、地方事務所有賀總務部長が歪んだ床柱を前に、熱誠こめて合併御利やくの說明中、三月末に就任したばかりの遠藤町長細長く痩せた顔に助役、收入役の幹部を從え永山町会議長も四角い顔に珍らしく緊張を漲らせて侍る中央陣を圍んだ住民が、廊下まであふれて全身を耳にした異常な關心、最早合併への決意成つた覺悟の色は蔽うべくもない

そこで、核心の平か、磐城市か、の動向に一歩前進して聽診器を当てる

私たち零細漁民は当面の生活に追われています、その意味で遠大な將來より明日から福祉的な、良く問題にされる海水浴場の公衆便所などは見えぬ惡臭と根くらべする位の根氣が必要 立看板位のゴマカシは効きません、水族館なども金メイコで宣傳するならする様に水族館らしい水族館をやつては如何？金がない、金があつてやるなら誰でもやりますよ、それから恐しいのが飲食店、いくらボラれるのか見当がつかないから恐しくて入れない、一度その網にかかつたら善良な人は二度とその土地を踏みませんん、組合があるのだから協議しあつて定價表を見える處に出し、お銚子の底なぞも法外に高くしない様な良心こそ見えすいたお世辭にまさるサービスです どうですか觀協會あたりが〝安心して飲食出來る店〟と云う大きな證明書でも發行しては？

觀光地に勝をさぐり、慰を求めると云う事は何も人ごみの中でほこりを吸う事ではない、磐城海岸にも隨分と景勝の地が埋もれている事を發見することも立派な觀光事業ではないですか

今日の主張
觀光事業は商賣である
誠意と親切こそ最大のサービス

比佐凡風

觀光と云う言葉を繁く耳にする様になつたのは確かに終戰後であつたと思う、觀光と云う字句の古事來歷は知らぬが、少くとも現在使われる觀光の意味は種々もあろうが要は何かの名所、名勝、舊跡にかこつけて〝お客さんん〟を誘い寄せお金を儲ける事である、終戰後觀光の亂発が多くなつたと云う事は國民の生活にそれだけの余裕が出來、それだけ文化的？になつた好ましい社会現象である世の流行もあるが、あらゆるものが算盤の上に建つ市政圏外に孤立した脆弱自治体〝海のトリエステ〟の惱みでもあろう

本社は七日同町の中心部落磯公民館に続々と押し寄せた住居者代表とこれを双方から包む豊間、沼ノ内住民有志の聲を捉え磐城、平両市の勸誘下、いまや合併必至と動く「豊間町の表情」をみてとつた

以下は潮の香匂う農漁民の生々しい動向を傳える現地ルポである

同部落では直接收入に響いて来る海洋依存の生活がラフに現われて、より早くそ〻狀態を存續する方へ動きたいとの明らかな表情、そこで海の生活者の綜合意見を全町に飛んでかき集める

動く豊間町總人口六千一百四十名中漁産額王により依存する業者並に家族三千一百名が半農半漁の小舟漁業によつて至近海の海草雜魚などの資源に依存して生きる業者並に家族三千一百四十三戸傍系從業員七百二十名

まだ〳〵時間的な問題が伏在して、昨今に決定する足並みを見ることは至難な実情である

この大勢を決する海の住民が皮肉にも平と、磐城市に何故相反した手を伸ばさせねばならないか、と云う問題こそ豊間町として深刻の惱みでありこの解決点が、取りも直さず同町の合併都市を決定する根幹であることは爭えない

そこで、三轉してその實情に解剖のメスを當てた結果、次のような結論が出、勢い合併の相手も自ずから明らかになつて來た

豊間町には合併勸告の平磐城市から未だ政治的な離反の觸手は伸びていない、前記の相反する一方の雄は企業家系に屬するとしての最大理由をE代表者に訊く、E氏は町の公職者としても幅廣なポストにある重鎭

抵抗する勢力が零細漁民と海產加工業並に一連の從屬体である、先ず前者の

7～10日
東宝映画
立本二作
新絶東映
！
驚剣渦巻く東海道お馴染み助さん格さんが捲き起す快刀乱麻
正義の剣風
続水戸黄門漫遊記
副将軍・初上り
富田常雄の代表傑作の映畫、少年の夢を結ぶ感動の柔道映畫
少年姿三四郎
第一部 山岳の決斗
小名浜東映

磐城市教委開く

既報＝オ二回磐城市教育委員会定例会は八日午後一時半から小名浜公民館ホールで開かれ、次の事項について協議を行う

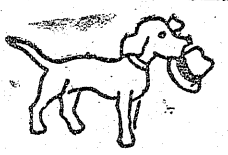
◎教育報告
▽昭和二十九年度教育豫算について▽三十年度使用教科書採擇方針について▽市青年會の動向について▽市婦人会連協結成について他

◎協議事項
▽鹿島三部落兒童の教育委託の件▽青年会、婦人會の指導育成の件▽市中学校体育連盟に對し優勝旗贈與の件

開業御知らせ
今度当地開業致しましたから何卒御引立程御願ひ致します
申込所
本町 小泉金物店前
竹町三楽前 伊藤春男
後宿七兵衛近所 志賀武雄
尚当店として皆様に申込の日より十日間無料奉仕致します
豊間町下町
志賀ミルクプラント

平けいりん
7月
10日(土) 11日(日) 12日(月)
小雨決行 場外車券賣場
平 泳若 郡山 福島
主催 平市

自家製造の家具
御婚礼用家具一式
和洋タンス各種 茶タンス 戸棚
事務用机 椅子 漆器 冷蔵庫
ウインドーケース 佛具類
磐屋家具店
磐城市中島通り電話三六五番


営業の店
平マーケット
小名浜第二小学校前電二七
チケット歓迎
雨もまた楽し旅行に通勤に
絹レインコート一四〇〇円
雨靴五〇〇圓より各種荷擔
洋傘にビニール張り登山帽

経営をかけすに廣い品数く
いつ安い番一が月今年毎
今年の生地は丈夫で安い手提鞄キ
夏向白ハンドバック セット ミルボン
ボストン旅行セット 打 ズ ン
野球帽登山帽鳥打 トレ
男女運動着に丈夫な開襟シ
おつとめに雨靴レインコート
雨にはブラウス夏手袋スカート
夏向ナイロンテーブル掛
婦人子供サンダル各種
化粧品柳屋・メヌマナ・ウテナ・ジユジユ } 80円
ちどりフトン綿

(2)　第三種郵便物認可　昭和26年7月13日　運省特別承認扱第684号　磐城日日　昭和29年(1954)7月9日　(金曜日)　第1167号

一中、全種目に優勝

磐城市中体連　球技大会終る

七日珍らしく晴間の見えた夏空の下、一中、二中グランドで磐城市中体連主催による磐城市内中学校球技大会が行われた球技の花形野球を始め、バスケット、バレー、ソフト、卓球に亘り技量を競い、結局一中が綜合優勝を得た

▼野球（勝抜戦）
「決勝戦」
一中5——2二中

▼ソフトボール（リーグ戦）
一中＝三勝、江名中＝二勝一敗、二中＝一勝二敗、泉中＝三敗

▼卓球＝女子（勝抜戦）
「決勝戦」
一中A3——1泉中

▼卓球＝男子
一中A3——0二中

▼バスケット＝男子（リーグ戦）
二中＝三勝、一中＝二勝一敗、江名中＝一勝二敗、泉中＝三敗

▼女子バレー
一中＝五勝、渡辺中＝四勝一敗、泉中＝三勝二敗、鹿島中、二中、江名中＝三勝、一中＝二勝二敗、渡邊中＝一勝三敗、二中＝三敗

▼バレー＝男子（リーグ戦）

江名中の順

なおバスケット女子、テニスは出場校無しで一中が不戦勝となつており、来る二十四日石城郡中学校体育大会には一中野球は優勝の色が濃いと見られ、卓球男子も好間中を破れば優勝間違いなく、女子も錦中を蹴れば優勝するだろうと一中は全校を上げ虎視タンクンとこの日を指折り数えて腕を撫している

また市内大会随一の傑作は一中ソフトの戦果で、今まで二中、江名中、泉中、一小との練習試合にことごとく負けており、一勝ものにすることは出來まいと思われていたが、全勝とあつては眉にツバをつける騒ぎとなつた

海は招く磐城へ

観光ポスター街に出る

○……磐城市經濟課の考案になる〝市觀光宣傳用ポスター〟がこの程完成、七日市吏員の手で國鐵水戸管轄局をはじめ遊覽バス会社に發送された

○……二十日の〝海開き〟を目前に市觀光協會では盛大な港まつりを企画本縣はもちろん、遠くは京浜方面にまで美人キャラバン隊を繰り出し、今夏の海水浴客を小名浜、江名、永崎、剣浜の四海水浴場に招かうとシズーン到來に大變だ

○……ポスターは水着姿の美人と四海水浴の略圖が描かれ、五色刷りの豪華なものだが濃いグリーンの海を衷した色に赤の水着にほうまんな肢体をあらわす美女が笑みをたたえ外客を誘つている（寫眞はポスター）

危く海のいけにえに

小松さん可愛いアベックを救助

夏の陽ざしがチラッと姿を見せながらも仲々に夏になり切れないとの頃の陽氣に待ち切れず子供達の川遊び、磯遊びは日ましに賑わいを見せていたがその七日、七夕の縁起でもあるまいが危うく今年初の海の犠牲から救いあげられて早くも海の恐ろしい一面を見せながら街の話題となつている

七日の午前十時頃磐城市築町の飯塚宗雄さん三男宗一（五）くんと同町比佐慶三さん次女令子（三）ちやんの二人は可愛いアベックで同市小名浜築港地内の海浜でカニ取りにたわむれていたが波に引き込まれ、危く海中に呑まれようとしていると ころを傳馬船を引上げていた古湖漁業小松茂（二四）君が發見、飛び込んで救けあげ、既に失神した令子ちやんに人口呼吸をほどこすなど適切な處置で危い二命を救けたもので磐城警察署では近く小松さんを人命救助で表彰方具申する模様

富士名刺は ナガセ

二讀二者二論二壇二

〃密告〃運動は何故？

社會を明るくする運動に一言

澤村昇吉

醉狂氏が醉狂とも思えぬ論調で「社会を明るくする運動」を論じているが社會が明るくなる運動なら過ぎると云う事はない大いに結構、どし〳〵推進してもらいたいと念願したい

全く現代社会はあまりにも暗い事が多すぎる、新聞紙面に見る社会のみでなく、あらゆる面に明るい話題が殆どない、殊にヒロポンと犯罪の結びつきは誠に憂心にたえないものがある

現在のヒロポン禍は既にあらゆる機關があらゆる機会を通じて論じているが一向に減少の潮向すら見えない事は何としたものであろうか、社會を明るくする運動にしてもその仕事は講演會、座談会展覽会の開催、更にポスター、リーフレットの作成、磐城市では立看板、横断幕と何事によらず啓蒙宣傳の方法は型がきまつて、その爲の会議々々に追いまわされるそんな事では何をも出來ぬ事は勿論である、その好例には公明選擧運動がある、あれ程の公明選擧運動の効果が空前絶後？の大量選擧違反となつて現われている、百の宣傳よりも一の徹底取締りが効果的である事、今後の選擧が有力に物語るであろう

種々な週間、或いは月間と云う様な運動はそれのみでない事は勿論であり民生委員等の目に見えぬ日常の努力には誠に垂頭の敬意と謝意を表さねばならぬが、その効果となるとや半減せざるのやむを得ない、その一朝夕に成ざる事は諒と出來るがその社会福祉事業運用に人間的な根本のソコが指摘されるのではなかろうか卑近な例には今回の社会を明るくする運動にも物品の寄贈を受けてこれを支給する項目を見るがその趣旨は結構としても与える者の善を悪ぐむと云う人間的優越感とおごりが與えられる者に卑屈感と人間的屈辱を感じせしめる、その逆効果は勤労意欲を減退させ 粧うて勞せず少くても多くの慈善物品にありつこうと云うさもしい根情を誘發させる、この反作用は與える側に嫌悪感を抱かせるこの逆ジュン環が少くとも現代の社會福祉である要は運用の根本的過ちではないか？

更に犯罪を悪と極印して社会からほうむらんとする事の人道的過誤はとにかく治安當局がその徹底的取締の困難を訴える理由に一般市民の非協力があげられる、これは一般人がかかわり合いを恐れる事とその復讐を恐れる事による、この二点を除去出來るならばその発生と檢擧は半減する事至極である、社会事象には一の発力体、原動力が必要である、社会を明るくする運動の全部をこの一点に集結してもその効果は充分に達せられる、一つ実施委員会あたりがドシドシ密告運動でも起こしてはどうかと提言する

天氣豫報 9

（本日）東の風雨が降つたり止んだりの天氣でしよう

（海上）引続き風波が高く見通しが悪いでしよう

魚菜市況 8

（小名浜中央青果市場）

卵一〇〜一二、五〇ねぎ九〇玉ねぎ三〇〜四五馬鈴薯三五〜四五大根一五〜八五人蔘七〇〜七五ごぼう一六五〜一九〇カボチヤ四六〜一一〇ときわ八〇〜一三〇なす二二〇〜二七〇きうり八〇〜一九〇玉葱二〇〜六〇

御紋戒名入
盆提灯の御用名は
淺見紋店へ
磐城市小名浜竹町（金美館裏）

立体3本豪華力強

ワーナー彩色カラー元次3才

映畫革命の時代來る！
此の映畫を見ずして現代人の資格なし!!!
血も凍る怪奇・驚異！戰慄の連續!!!
これぞ空前絶後の立体映畫決定版

立体映畫

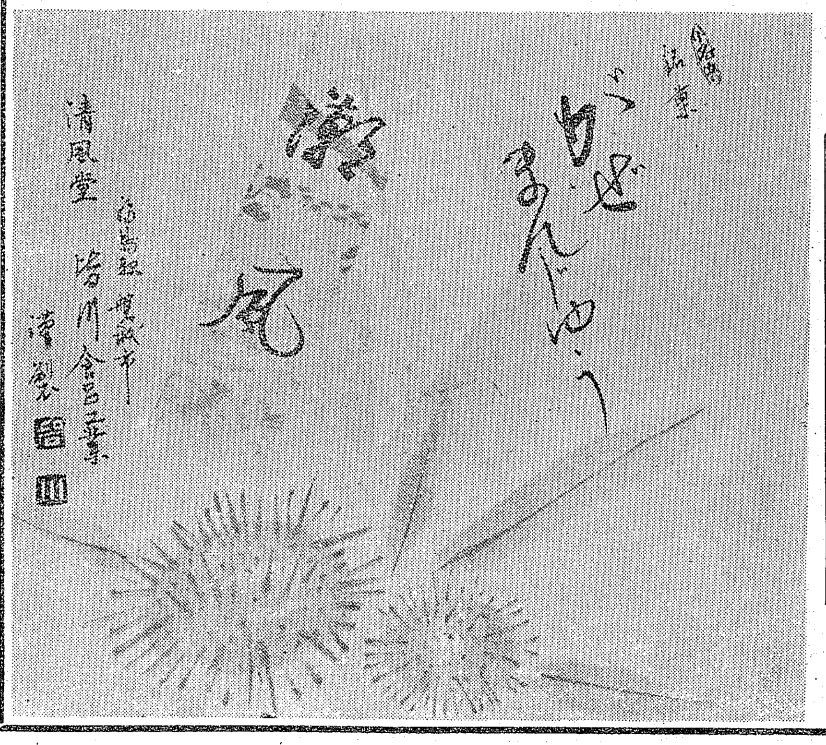
監督アンドレ・ドトス　主演（ヴァンセント・プライス　クラン・クラブジョイ
（フイリス・カーク

今回本格的立体映畫上映のため立体映画用特殊映寫機を設備致しました立体映畫には不可欠のスリラー映畫に使用する眼鏡は入場のさいお貸し致します
尚本映畫の映寫効果は絶對の迫力感と共に必ずや皆様の御期待に添えるものと確信致して居ります。
但し紛失破損、又はいちぢるしく損傷した場合は眼鏡り實費代として金二十円戴きますから御承知願います。

一時間四十〇分の恐怖の連續殺人魔の手に作られる肉の蠟人形の怪奇全世界の話題何卒ワーナーが絶對の自信を持つて放つた格的色彩立体映画

大映時代劇　強豪篇
監督　森一生
醉どれ二刀流
長谷川一夫　若尾文子　黒川彌太郎

NCC提供
ストリップ映画
世界ヌード祭
けんらん目を奪う全世界一流のストリッパー網羅した圧巻！！

一堂々!!七日ヨリ十三日迄上映—

磐城座
電151